

ゆっこら通信

社会福祉法人ゆっこら

〒301-0834

茨城県龍ヶ崎市古城 3204

電話番号 0297-85-4301

<http://yukkora.jp/>



～15周年記念特集～

龍ヶ崎市 中山一市長よりご祝辞をいただきました。

令和2年3月11日に15周年記念式典を執り行う予定でしたが、コロナウイルスの影響で開催が中止となりました。ほぼ1年前から利用者・職員で準備を進めてきただけにとっても残念です。間際まで開催する方向で検討を重ねたのですが、健康と安全が第一と考え、このような決断に至りました。ご来場を楽しみにされていた皆様には大変申し訳なくしております。

開催中止にあたり、龍ヶ崎市市長をはじめ、日頃よりお世話になっている皆様から心温まるご祝辞をいただきました。それらのお言葉を励みに、これからも努力を重ねていきたいと思っております。

中止となってしまった式典ですが、実は目玉としてゆっこらのイメージ映像の上映や、利用者の芸術作品を展示する予定でした。飾りつけに工夫を凝らし、お披露目するのを楽しみにしていたのです。

今回のゆっこら通信では、15周年記念特集として式典に向けて作り上げた作品の数々を紹介いたします。

本部 吉田満輝

ゆっこり、そしてゆったりと

障がい者が、将来にわたって、
ゆっこり、そしてゆったりと生活が送れる場、
「ゆっこら」が生まれて15年が経ちました。

精神障がいをはじめ、すべての障がい者にとって、
「居場所」は大切な場です。
生きづらさを抱え、居場所を無くした障がい者にとって、
「ゆっこら」は大切な場です。
そして、この街にとって障がい者福祉の重要な拠点です。
でも15年は、まだまだ節目です。
20年、30年を共に目指していきましょう。

皆様の素晴らしい活動を心から応援いたしますとともに
すべての人に隔たりのない生活、社会を心から願っています。

「ゆっこら」の15周年を心からお祝い申し上げます。
そして、ありがとうございます。

令和2年3月11日

龍ヶ崎市長

中山一

春の花々が美しく咲く季節となりましたが、一方で、新型コロナウイルスによる社会不安が広がっております。先日は、ご丁寧に社会福祉法人「ゆっこら」十五周年記念式典中止のご連絡と共に、記念誌をお送りいただき、誠にありがとうございました。色々と準備をなさっておられた皆様にとりましては、残念なことと思います。

記念誌を拝見させていただきました。「ゆっこら」に関わる多くの皆様方が、時間をかけて障がいのある方々にとっての住み良い環境を整備し、うけ皿となる施設作りに多大なご尽力をされたことが、分かりました。

今、「ゆっこら」に集う皆様、障がいを持ちつつも、皆様に支えられ、明るく、楽しみを見つけて生活してられるのは、そのかいあつてのことと思われれます。

私は、少しの間、ふれんずでボランティアをさせていただきましたが、お陰さまで、障がいを持ちつつ生きることについて考える良い機会をいただいたと思っております。生活環境が悪化すれば、誰でも精神障がいになりうることを考えますと、みんなが、温かい社会作りを目指していかねければならないと考えます。

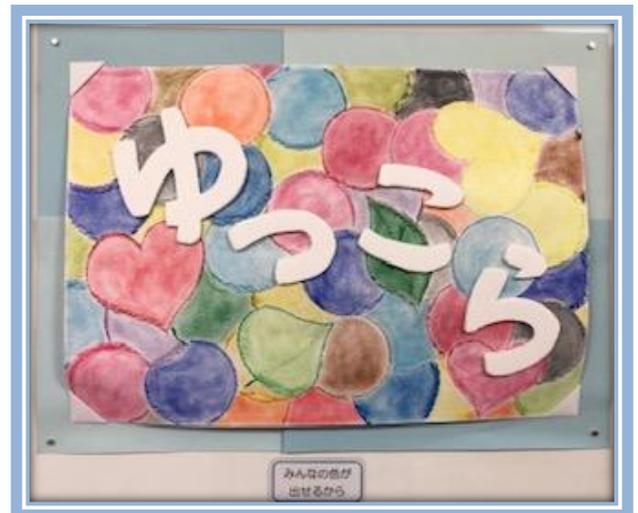
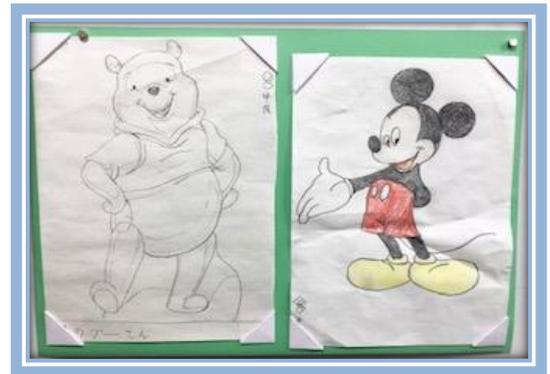
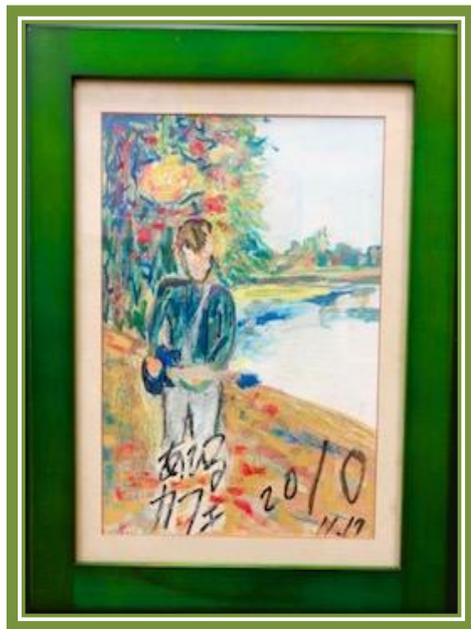
このたびは、貴重な記念誌をお送りいただき本当にありがとうございます。重ねてお礼を申し上げます。未筆ながら、ゆっこら利用者の方々、施設を支える皆様方のご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

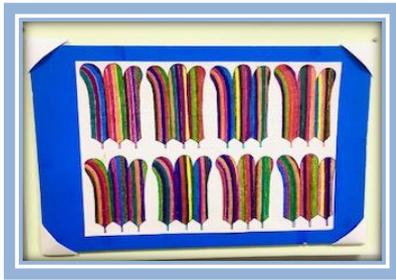
飯田孝子

二〇二〇年三月八日。

飯田様より心温まるお手紙をいただきました。

社会福祉法人 ゆっころ15周年式典

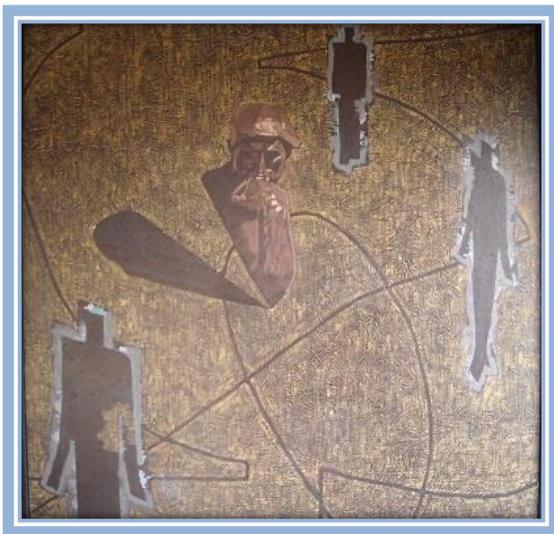




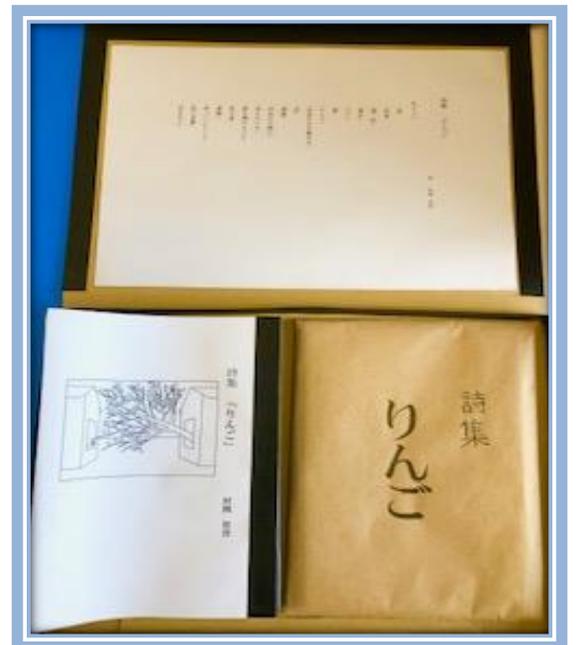
アニバーサリー



地球



パッチワーク





～ゆっこら創立 15 周年記念作品～

古城の家 川道奈央子

古城の家で、昨年の秋ごろから製作していたちぎり絵が完成しました。ティータイムの時間を利用して、おしゃべりしながらできる時にできる人が少しずつ貼っていく、というスタイルで作りました。今後 20 年、30 年と続くゆっこらの発展を願い、みんなで作った大きな作品を、古城の家の玄関に展示しています。

ゆっこら 15 周年記念誌を作成しました。ご希望の方は各事業所までお問い合わせください。

～ボランティア講座での発表②～ (前号のつづき)

地域活動支援センターわかば M・A さん

部屋に戻っても、ぼくの怒りはおさまらず、だからといって、これ以上人に迷惑はかけられないと思い、何とか仮眠を取ることで、気分を変えようと思いました。眠りにつくまでの間も、職員の言葉を曲解したまま、過去の発言で悪く捉えたままの事も気持ちを押し殺しながら施設に通うのかと思い、より増したイラ立ちをかかえながら寝入りました。

目を覚ました時、自分が施設でとってしまった行動を後悔し、わかばの職員に電話をしました。しかし、その時も、ぼくの妄想では、自分の詩作への想いをながしにされているという気持ちに変化はありませんでした。

ですが、電話に出た職員の対応は、ぼくが行動に出してしまったことを怒るでもなく、「大丈夫だ」という内容の言葉を中心に、ぼくの気持ちを救おう、あの時、本当に伝えようとした言葉で励まそうとしていました。ぼくはやや混乱しながらも、自分の理解が間違っていた事に、やっと気付かされました。

そして、職員が話していた事、考えてくれていた事は、ぼくの活動を思いやる内容のものでした。自分の中での誤解も、やっととけて、反省の気持ちもありましたが、肩の力は抜け、その日はリラックスして過ごせました。

恥ずかしい話ですが、こういった一連の確認作業が無ければ、ぼくは、自分と人を傷つけ続けてしまいます。

わかばの職員方には感謝だけでは足りない恩ばかりです。

しかし、気を抜くと、自分は人にうっとうしがられている、嫌われやすいという想いが頭の片すみから始まり、胸中をしめられる考えを押しさえつけながら、生活しています。

明日は、おだやかな気持ちでいたい、と、今も思っています。

事業所名	☎	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)	(板橋マリーナへ)	〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま
ふれんず(板橋マリーナ)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ポランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町1-2-2 谷田部老人福祉センター
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2